国際ロータリー第２７８０地区

持続可能な
インパクトを
生み出そう

横須賀北ロータリークラブ週報

２０２６～２０２７年度

例会日　毎週火曜日　12：30～13：30
例会場　かながわ信用金庫追浜支店３階　横須賀市追浜本町１－28
TEL　046（866）1515
事務所　鈴木ハイツ２F　横須賀市追浜町 3-22-202
TEL・FAX　046（866）1801
URL：http://www.yokosukakita-rc.jp/
E -mail:info@yokosukakita-rc.jp

会　長　竹永　薫　副　会　長　片平　修一
幹　事　平林　祐樹　会報委員長　近藤　智平

第２９９５回　２０２６年　１０月２０日『火曜日』横須賀北ＲＣ

点　鐘
合　唱　「横須賀北ロータリークラブの歌」
司　会　平林　祐樹　幹事
ゲスト　地区米山奨学委員会委員
赤木 慎一郎　様（横須賀南西 RC）



ビジター
誕生日祝い
入会記念日のお祝い

「出席報告」

（本日）10 月 20 日

総数	出席対象数	出席数	出席率	ﾒｰｸｱｯﾌﾟ	計	修正出席率
24 名	24 名	12 名	50.00%	6 名	18 名	75.00%

（前々回）10 月 6 日

総数	出席対象数	出席数	出席率	ﾒｰｸｱｯﾌﾟ	計	修正出席率
24 名	24 名	17 名	70.83%	2 名	19 名	79.17%

「メーキャップされた会員」

9/14　地区諮問委員会　森　洋会員

10/8　第１ｸﾞﾙｰﾌﾟ会長幹事会　竹永　薫会長　平林祐樹幹事

10/9・10・11・12　地区姉妹都市委員会　　芹澤達之会員

10/10　地区大会会長幹事会　竹永　薫会長　平林祐樹幹事

〃　ｖ　地区大会 RI 会長晩餐会　森　洋会員　竹永　薫会長　平林祐樹幹事
芹澤達之会員

10/16　地区 AGE 研修　千葉　茂会員

「ニコニコＢＯＸ」

地区米山奨学委員会委員　赤木 慎一郎様
本日は米山奨学委員会の卓話でお邪魔いたしました。どうぞ宜しくお願い致します

三役　皆様こんにちは。地区米山奨学委員会より赤木慎一郎様にお越し頂いております。赤木様宜しくお願い致します

森　洋会員　赤木様ようこそいらっしゃいました。米山の卓話楽しみにしております

福嶋義信会員　地区米山奨学委員会委員　赤木慎一郎様宜しくお願い致します

小菅健史会員　地区米山奨学委員会委員　赤木慎一郎様卓話宜しくお願い致します

武藤修儀会員　米山月間卓話　赤木慎一郎様　宜しくお願い致します

髙田源太会員　地区米山奨学委員会委員　赤木慎一郎様ようこそおいで下さいました。卓話宜しくお願い致します

千葉　茂会員　地区米山奨学委員会委員　赤木慎一郎様本日はようこそいらっしゃいました。米山月間卓話宜しくお願い致します

前川永久会員　地区米山奨学委員会委員　赤木慎一郎様本日は宜しくお願い致します

後藤　仁会員　赤木慎一郎様　本日はお越し頂き有難うございます。
卓話宜しくお願い致します

ニコニコＢＯＸの合計は 12,000 円（累計 125,000 円）

財団ＢＯＸの合計は 9,600 円（累計 42,483 円）

ご協力有難うございました。次週も宜しくお願い致します

「会長あいさつ」

・先日 10 月 11 日(日)地区大会にご出席の皆様　有難うございました。

・本日は米山月間ということで地区の委員会より赤木慎一郎様様をお迎えしました。宜しくお願い致します

・11 月の 28 日(土)に予定しておりました野球教室ですが都合により 21 日(土)に変更いたしました。ご協力宜しくお願い致します

「幹事報告」

◎ｶﾞﾊﾞﾅｰ事務所より

①10 月 10 日及び 10 月 11 日開催地区大会の御礼状

②2027 年度 2780 地区米山奨学生世話ｸﾗﾌﾞ・ｶｳﾝｾﾗｰ募集のご案内

③ｲﾝﾀｰｱｸﾄ年次大会登録のお願い

日時:2026 年 11 月 15 日(日)　会場：逗子開成中学校・高等学校

◎第 1 ｸﾞﾙｰﾌﾟ会長・幹事会開催

日時:2026 年 11 月 16 日(月)　場所:湘南信用金庫北久里浜支店 2F

◎回覧:　①ﾊｲﾗｲﾄよねやま 319

②11 月例会予定表　10/25 ﾎﾟﾘｵ募金活動活動

(出欠のご記入をお願い致します)

◎本日は 10 月最終例会ですので財団 BOX を廻します。

◎横須賀ﾛｰﾀﾘｰｸﾗﾌﾞ・三浦ﾛｰﾀﾘｰｸﾗﾌﾞより例会のご案内

「委員会報告」

「スピーチ」

【米山月間卓話　地区米山奨学委員会委員　赤木　慎一郎　様】

ﾛｰﾀﾘｰ米山記念奨学金事業とは



日本のﾛｰﾀﾘｰ全地区による国際奉仕事業です。日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援することにより、日本と世界との平和の懸け橋になる人材を育てています

事業の使命

将来、日本と世界とを結ぶ「架け橋」となって国際社会で活躍しﾛｰﾀﾘｰ運動の良き理解者となる人材を育成することです。これはﾛｰﾀﾘｰの目指す平和と国際理解の推進そのものです。

なぜ、外国人留学生を支援するのか

この事業は 1952 年東京ﾛｰﾀﾘｰｸﾗﾌﾞが始めた「米山基金」に始まります。日本のﾛｰﾀﾘｰの創始者である故・米山梅吉氏の生前の功績を讃え、後世まで残るような有益な事業を行いたい考えで、海外から優秀な学生を日本に招き勉学を支援する奨学金事業です。その背景には二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、平和日本を世界に伝え、国際親善を世界平和に寄与したいという、戦後のﾛｰﾀﾘｰ会員の強い願いでありました

米山奨学事業の概要　日本のﾛｰﾀﾘｰ独自の事業

日本で学ぶ外国人留学生の支援(公益財団法人を設立し運営)

世話ｸﾗﾌﾞ・ｶｳﾝｾﾗｰ制度交流を重視・人を育てる事業

2026 年度国別奨学生数

中国 8　韓国 6　ﾏﾚｰｼｱ 5　ﾍﾞﾄﾅﾑ 4　台湾 3　ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ 3　ｶﾝﾎﾞｼﾞｱ 1

ｼﾝｶﾞﾎﾟｰﾙ 1　ﾊﾞﾝｸﾞﾗﾃﾞｯｼｭ 1　計 32 人（2026 年 9 月 3 日現在）

奨学生の募集と選考採用基準全国統一

・勉学への意欲・人物面・学業面が優秀　将来日本との架け橋になりうる人材

家庭状況・経済状況は評価対象外

将来の目的　留学の目的　交流への熱意　人間性　人柄　能力･ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

ﾌﾟﾗｽ　地区の裁量

米山学友という財産

米山事業には大きな財産が有ります

米山学友は宝（故　小沢一彦）

米山奨学事業を終えた小学生たちはそれぞれの国に帰ります。しかしそこでは終わりません世界各地に学友会が組織され元小学生たちがさまざまな活動をしています

【ある学友の言葉です】

自分も日本のﾛｰﾀﾘｰに支えてもらっただから今度は自分がだれかを支えたい





